

株主の皆様へ

第123期 中間報告書
平成30年4月1日～平成30年9月30日

123



常にお客様への感謝の心を持ち、 品質保証と物流の革新を通して、 社員の成長を求め、社会に貢献する。

当社は、産業用包装資材の製造販売を行っております。
重包装袋業界ではトップシェアを誇ります。設立以来、お客様からの、
こんな物を包みたい・運びたいというご要望に対し、メーカーとしてのこだわりを持って、
一つ一つ応えていくことで技術力に磨きをかけてきました。
その積み重ねと、常にプラスワンの展開を心がけて、80年余歩んでまいりました。

Since 1935

創立100周年の未来に向けて

袋は、内容物を使用する際には捨てられてしまうものではありませんが、内容物を保護するだけでなく、お客様の製品を包装している間はおお客様の顔となります。このことにプライドと責任を持って、100周年の未来に向けて、長期持続的な企業価値の向上を目指していきます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
当社は第123期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の前半を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

【日本経済の概況】

4～6月期の実質GDPが2四半期ぶりにプラス成長となり、その後、地震、豪雨、台風の自然災害による影響が危惧されましたが限定的なものにとどまり、全体として緩やかな景気回復基調が持続しました。

【当社グループの概況】

グループ各社とも概ね順調で、連結業績は前年同期に比べて増収増益となりました。

【第2四半期連結累計期間の業績】

連結売上高は10,794百万円で前年同期に比して404百万円の増収となりました。損益につきましては、営業利益710百万円（前年同期比25百万円の増益）、経常利益778百万円（同26百万円の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益541百万円（同43百万円の増益）となりました。

【第3四半期以降の見通し】

我が国経済は緩やかな回復基調が持続していますが、通商摩擦の激化、素材価格の上昇など懸念されるリスクが大きくなりつつあります。当社グループの製品の原材料価格は既に大きく上昇しており、第3四半期連結会計期間以降の損益に影響が及んでくることは必至

Top Message



代表取締役社長
大西 亮

の情勢です。

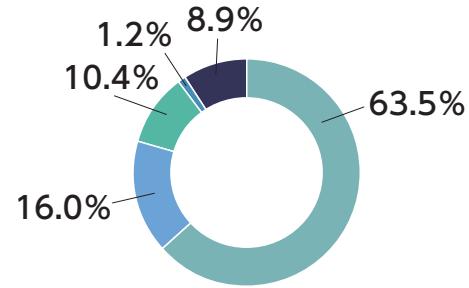
しかしながら、当連結会計年度通期の業績見通しについては、当初の予想（平成30年5月10日発表）を変更せず、連結売上高21,200百万円、連結経常利益1,545百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,042百万円を見込んでおります。

配当について

平成31年3月期は年間34円の配当を予想しております。この配当金額は平成30年3月期と同じです。

セグメント情報

売上高	
10,794	
百万円	
重包装袋	6,853百万円
フィルム製品	1,724百万円
コンテナ	1,126百万円
不動産賃貸	132百万円
その他	958百万円



重包装袋

■ 事業説明

プラスチックの原料等化学工業製品、玄米・精米等の農産物、小麦粉・塩・砂糖等の食品等多様な物品を包装する紙袋、主として化学肥料を包装するポリエチレン袋を製造・販売しています。後述のトピックスにも記載しましたとおり、粉体等の内容物の漏れをさらに抑制することに成功した両底貼り袋「SVパック」の販売に力を入れています。また、段ボールの原料不足から、塩・砂糖等の小袋集合包装用の「ボックス(BAX)」が、段ボールに代わる宅配の包装材として期待されています。

■ 事業概況

当社の重包装袋の売上数量は前年同期比△1.5%でした。米麦袋と合成樹脂用途がマイナスとなりましたが、砂糖・甘味、化学薬品用途は増えました。しかし、全体では前年同期の売上数量に達することはできませんでした。一方で、タイ昭和パックス(株)他グループ各社は売上数量を増加させました。製紙各社は、原材料の値上がり等を理由に、重包装袋用原紙についても大幅な値上げを実行しました。

■ 主力製品



フィルム製品

■ 事業説明

大型包装資材として利用される熱収縮フィルム「エスタイト」。防霧効果、光線透過性、流滴持続性、耐油性など、様々な特性を付与したパイプハウス展開用農POフィルム「キリヨケパーナル」。極めて優れた伸縮性と密着性、刺突耐性を備え、牧草などの畜産用飼料を安定して発酵させるサイレージ用ロールペールフィルム「エスラップ・グリーン」。いずれも当社設備の特長を活かし、よりお客様が使いやすく、高くご評価いただける製品となるよう研究を重ねて商品化したものです。当社の主力製品として長期にわたりご愛顧いただいています。

■ 事業概況

当社のフィルム製品の売上数量は、僅かながら産業用、農業用ともに増加し、合計で前年同期比+1.1%でした。産業用でマスキングフィルム用のHQF、農業用で牧草用、サクランボ用などが増加しました。主原料であるポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂は原油価格の上昇を受け、数度にわたり値上がりしました。

■ 主力製品



コンテナ

■ 事業説明

一度に大量の粉粒物を輸送するための、500kg~1t用のワンウェイ・フレコン「エルコン」、5t・20フィート用を主力とした大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、また、液体輸送用の1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」やコンテナライナー「エスタンク」を製造・販売しています。

■ 事業概況

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、前年の失注分を取り戻し前年同期比+19.1%と増加しました。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」は、いずれも前年同期から売上数量を減らしましたが、液体輸送用1,000ℓポリエチレンバッグ「エスキューブ」は増加しました。

■ エスキューブ



製品紹介 (当社の製品を順次紹介いたします。)

サニーイージー袋

サニーイージー袋とは、イージーオープン機能付きポリ内袋入り紙袋です。砂糖、脱脂粉乳等食品の包装に最適で、内袋分離が可能です。

- ① 異物混入防止
異物の混入を防止するために考案されたポリ内袋入り紙袋です。
- ② イージーオープン機能
鋏等を使用せず、開封テープを引くだけで簡単に開封可能です。
- ③ 密封性・防湿性
内袋は上下ヒートシール(熱溶着)されているため、密封性が高く、防湿性に優れています。
- ④ 自動包装化によるコスト削減
自動包装による包装作業の合理化・省人化が可能です。

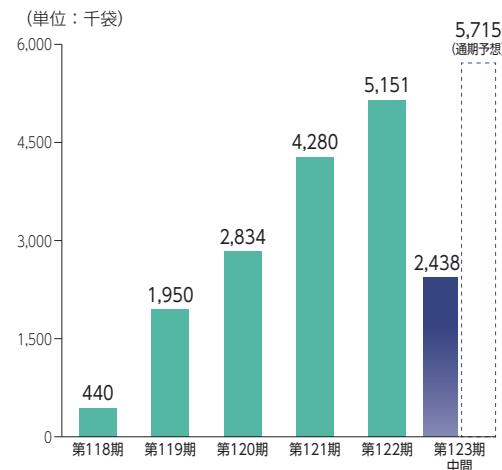


トピックス

両底貼り袋 (SVパックを含む) の販売数量推移

平成25年9月に東京工場で両底貼り袋の工場を完成させて以来、粉体製品の漏れを抑制する両底貼り袋としてSVパックを開発する等、拡販をすすめてきました。この度、大手製粉会社にもSVパックを採用いただきました。また、第120期末の事業報告書でも紹介しました改良型のSVパックが、漏れ抑制効果が評価され、伝統ある食品会社で採用いただきました。

両底貼り袋 (SVパックを含む) の販売数量推移は右のとおりであります。今後も更なる販売増を目指します。

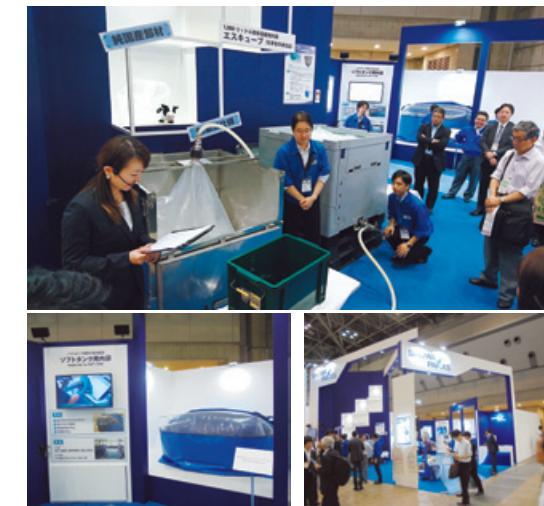


東京パック2018に出展

平成30年10月2日～5日に東京ビッグサイトで開催された国際包装展「東京パック2018」に出展いたしました。

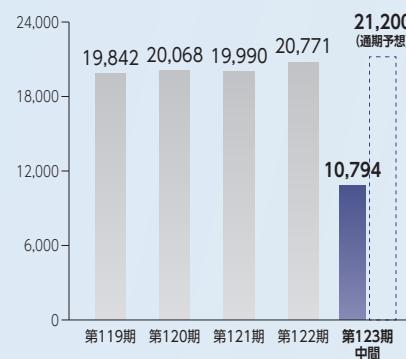
展示会のテーマ「考えよう地球をまもるパッケージ」に沿って、環境に配慮し、FSC(森林認証制度)についての紹介と紙製バリア包装材料「シールドプラス®日本製紙」を活用した紙袋について展示しました。

また、(株)アサノ通運と共同で開発した「大型液体輸送容器ソフトタンク」専用内袋、乳製品適合仕様の1,000ℓ液体容器用内袋「エスキューブ」、農業用ハウスフィルム等についての実物展示を行いました。

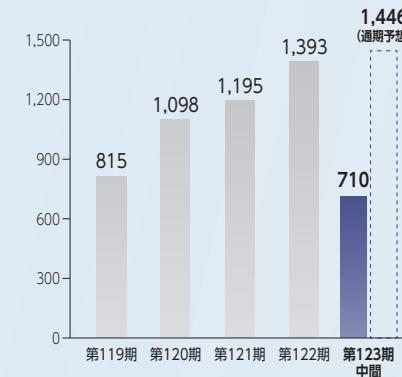


連結財務ハイライト

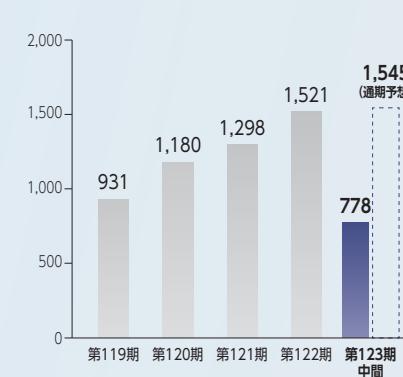
売上高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



経常利益 (単位: 百万円)

親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益 (単位: 百万円)

総資産 (単位: 百万円)



純資産 (単位: 百万円) / 自己資本比率 (単位: %)



(注)当連結会計年度より、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を適用したため、第122期につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

会社概要 (平成30年9月30日現在)

■ 設立

昭和10年12月20日

■ 資本金

6億4,050万円

■ 主要な事業内容

クラフト紙袋、樹脂袋、合成樹脂製品の製造販売および各種包装容器、包装材料、包装関係機械の製造販売

■ 主要な事業所

本 社 〒162-0845

東京都新宿区市谷本村町2番12号

電話 03(3269)5111

支 店 大阪、西日本(山口)、中部(名古屋)、東北(仙台)

工 場 東京(埼玉)、防府(山口)、富山、亀山(三重)、盛岡(岩手)、掛川(静岡)

子会社 九州紙工(鹿児島)、ネスコ(東京)、山陰製袋工業(島根)、山陰パック(島根)、昭友商事(東京)、タイ昭和パックス(タイ王国)

当社の株式の状況 (平成30年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数 13,450,000株

■ 発行済株式の総数 4,450,000株

■ 株主数 1,001名

■ 大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社サンエー化研	846	19.1
新生紙パルプ商事株式会社	837	18.9
株式会社三菱UFJ銀行	135	3.0
特種東海製紙株式会社	130	2.9
株式会社みずほ銀行	80	1.8
昭和パックス社員持株会	76	1.7
農林中央金庫	75	1.7
株式会社鹿児島銀行	70	1.6
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	53	1.2
岡本圭介	50	1.1
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	50	1.1
王子ホールディングス株式会社	50	1.1
丸紅株式会社	50	1.1
みずほ信託銀行株式会社	50	1.1
明治安田生命保険相互会社	50	1.1
中越パルプ工業株式会社	50	1.1

(注)持株比率は自己株式(9,959株)を控除して計算しております。

株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日

定 時 株 主 総 会 毎年6月

期 末 配 当 金 支 払 株 主 確 定 日 3月31日

中 間 配 当 金 支 払 株 主 確 定 日 9月30日

基 準 日

定時株主総会については、3月31日。その他定款に定めがある場合のほか、必要があるときはあらかじめ公告する一定の日。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部

お 取 扱 窓 口 お取引の証券会社等。特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店。

特別口座管理機関 お 取 扱 店 みずほ信託銀行
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

未 払 配 当 金 の お 支 払 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
みずほ銀行 本店および全国各支店
(みずほ証券では取次のみとなります。)

単 元 株 式 数 100株

公 告 方 法 電子公告により、当社ホームページに掲載。
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載。

役員 (取締役および監査役) (平成30年9月30日現在)

代表取締役社長 大 西 亮

常 務 取 締 役 飯 崎 充 管理本部長

取 締 役 森 文 男 生産本部長

取 締 役 野 崎 和 宏 営業本部長

取 締 役 小 野 寺 香 一 フィルム事業企画部長

取 締 役 渡 淳 二 サッポロホールディングス(株)顧問

常 勤 監 査 役 佐 藤 隆

監 査 役 宮 本 貞 彦 新生紙パルプ商事(株) 常勤監査役

監 査 役 櫻 田 武 志 (株)サンエー化研 常務取締役

※渡 淳二氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

※宮本貞彦氏および櫻田武志氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。